

## 忘れてはいけない水の大切さ

水。これは限りある資源であり、私たち人間が生活していく上で欠かせないものです。毎日顔を洗ったり、歯をみがいたり、トイレやお風呂など、朝起きてから夜眠るまでいろんなことに使います。水は私たちの命を支えてくれる大切な存在なのです。

しかし、水は時として私たちを襲い、命を奪う場合があります。三月十一日に起きた東日本大震災では津波でたくさんの方が亡くなりました。私たちが住む奈良県には海がありません。なので私は津波の恐しさを全く知りません。なので私はニュースで被災地の様子を見たときは胸が痛くなりました。そして避難所では苦しい生活をしていることを知りました。水が不足し、飲み水も少なく、一番困ったのはトイレだったそうです。私たちは普段、水は蛇口をひねれば出てく

るものだと思います。毎日あたりまえのように蛇口をひねって水を出しているけどそれはあたりまえではないのです。今回の震災で水の恐しさ、そして水の大切さを知ることができました。

そこで私は、私たちの生活から水が無くなるとどうなるのか考えてみました。まず、飲み水がない、ごはんも炊けない、お風呂にも入ることができません。私たちは水がなければ生きていくことができないのです。水に命を支えられて生きています。水があるからこそ私たちはこうして生きていられるのです。世界の発展途上国は安全な飲み水を手に入れないことができない環境にあります。テレビなどでよく見るのは、きたない水を飲んでいたり、水くみは子どもたちの仕事で、小さい子どもが遠くはなれた川まで水をくみに行く

奈良市立月ヶ瀬中学校 三年

長田 優希

つていました。しんどい思いをしてくみに行  
った水はどろ水。その水を飲んで一日に何人  
もの子どもたちが亡くなっていきます。生きて  
いくためには飲みたくなくても飲まなければ  
ならないのです。同じ地球でなぜこのような  
貧富の差があるのでしょうか。私たち日本人  
は本当に恵まれた生活をしているんだと思  
いました。あたりまえだと思っていた私たち  
の生活もけっしてあたりまえではありませ  
ん。私たちは普段の生活で何気なく水を使っ  
るので水の大切さを忘れかけているので  
す。水は一日たりとも欠かすことのできない  
限  
りある大切な資源です。そしてその水源を  
守  
つてくれる森林を育て私たちの暮らしを水  
の有効利用が進んだ「水を大切にす社会」に  
していくことが重要です。そのためには、ま  
ず私たち一人ひとりが水を大切にす意識を  
持たなければなりません。そして普段から雨  
水やお風呂の残り湯を利用するなど、無理の  
ない節水を進め、必要などころでは水を使  
う  
といつたメリハリのある水の使い方を習慣  
化  
していくことです。そんな社会を目指し、私  
はこれからも水の大切さを忘れずに生きてい

きます。